

# 平成30年度ナナーラ事業報告

## ○ 平成30年度期中職員異動状況

入職	正規職員	2名	嘱託職員	1名	パート職員	1名
退職	正規職員	8名	嘱託職員	0名	パート職員	3名

### 1. 職員体制変更に伴う活動内容の見直しについて

- 1) 管理責任者等の変更、職員退職に伴いこれまで勤続年数が長く、事業・利用者の調整を務めていた職員が多数退職し、職員体制の見直しを余儀なくされた。そのため、ナナーラ全体の職員体制の見直しを実施し、各事業の必要職員数を再確認し、それに見合う配置変更を実施。同時に、ナナーラ内で二か所に分かれて活動していた生活介護の活動場所を統合することで、職員配置の効率化及び活動内容の見直しを実施しました。

職員・事業体制変更に伴い平成30年10月に法人障がい部門利用者・家族説明会を法人本部・全管理責任者同席のもと開催。これまで事業所単独で実施してきた流れから、法人一本化に変更し、あらためて法人全体で障がいを抱える方への支援の在り方を説明しました。

- 2) 就労継続B型支援を実施している祢津活動場（祢津公民館隣接／東御市より借用中）では、この夏、建物内でシロアリが発生。同時に祢津大雨により床下浸水が発生しました。幸い大雨時は既に活動が終了していたため利用者は安全に帰宅することができました。建物の老朽化が進んでいるため、市福祉課と協議し、今後市による建物検査を実施予定。その結果をもとに今後の活動場所について検討。

検討を重ねる中で、利用者の安全・安心を担保すると共に、さんらいずホールと役割を明確化するために、次年度にナナーラ継続B型を廃止し、さんらいずホールへ移行することを確認。

### 2. 職員教育・研修の徹底について

- 1) これまで職員間の業務内容に差異があり、一人の職員が多くの業務を抱える事態となっていた。そのため、心身共に疲弊し休職を余儀なくされた職員が3名いました。これまでの経過、そして現在の思いを、個別面談形式で小林茂夫施設運営・人材育成アドバイザーと幾度も面談を重ね、アドバイスをいただき、内2名の職員が現場に復帰することができました。特に1名は、半年間をかけ徐々に勤務時間を延ばす、職務内容を見直すことを実施し、次年度には常勤へ戻す道筋をつけることができました。

- 2) ナナーラ体制・担当変更に伴い、今期は独自の研修実施が困難となりましたが、法人改革に合わせて法人全体研修に参加することで、法人職員として意識統一を図りました。

第1回 平成30年10月24日

「これからの介護保険制度の見直しとこれからの通所介護の事業展開」

講師 小川正洋 氏（上田市役所高齢者介護課課長補佐）

第2回 平成30年11月15日

「つなぐ」

講師 春原真由美 氏（春原建設マスターカレッジ住吉校）

### 3. 給付事業収入対前年 1.5%の向上について

- 1) これまで述べたように、上半期は職員体制の見直し、事業活動内容の見直しに着手しました。しかしながら、給付費収入においては、加算の見直し等により生活介護給付費収入が減少しています。年度に掲げた前年対比1.5%の向上を目指し、現在定員未達の宿泊型自立訓練から利用者確保に努めています。現在、病院から移行する精神に障がいを抱える方の利用希望が増加しています。しかしながら、ナナーラの現状は、平均勤続年数が約4年と、精神障がい者を支援する土台が整ってなく、次年度に向けて養護学校卒業生等、病院以外との関係づくりが課題となります。

### 4. その他の事業

- － 祢津歌舞伎祢津煎餅ふるまい 平成30年 4月29日
- － さんらいず・ナナーラ合同用語研修会 平成30年 5月16日
- － 平成29年度決算に伴う法人監事監査 平成30年 5月30日
- － 上田保健所による給食巡回指導 平成30年 6月15日
- － ナナーラ事業説明会 平成30年 6月27日
- － 障がい者レクリエーション大会（ボッチャ） 平成30年 9月21日  
主催：上小地区障がい児者施設連絡協議会
- － さんらいずホール・ナナーラ合同イベント開催  
平成30年11月3日 「スマイルフェス」
- － 祢津地区懇談会  
平成30年11月17日 「地域防災協定について」
- － 県実地指導監査 平成30年12月6日
- － 職員会議  
さんらいず・ナナーラ合同職員会議 平成30年 6月21日、9月25日、10月3日  
平成31年 1月28日  
ナナーラ職員会議 平成30年7月26日、8月23日
- － 法人年頭式 平成31年 1月17日
- － 法人次年度事業策定合宿 平成31年1月22日～23日